

# 「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」 調達プロセス・工事内容の検証について

2021年3月15日  
広域系統整備委員会  
コスト等検証小委員会事務局

- 第1回コスト等検証小委員会（2017.5）で示された検証の方針は以下の通り。

## 1. 調達プロセスの検証

- ① 「東京中部間連系設備における『調達に関する基本的な考え方※（以下、基本的な考え方）』」（第2回コスト等検証小委員会 資料3）に示された発注方式と整合取れているか。
- ② 原則として市場原理を確保している発注方式となっているか。  
（合理的な理由なく、競争入札以外を選択していないか等）
- ③ コスト低減の取組がなされた発注方式となっているか。

## 2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 実施案や過去の工事实績との対比（物量に応じた工事費となっているか）。
- ② コスト低減施策を行っているか。
- ③ 実施案や過去の工事实績の概算工事に比べて増加する見通しとなった場合には、増加要因・理由や対応策。

## 3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。
- ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策も確認。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しとなった場合には、対応策の検証。

## 1. 調達プロセスの検証

- ① 新佐久間FC新設工事および関連する土木・建築工事の入札方式については、より安価な事業者を決定する**一般競争を採用**し、事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方と整合している。
- ② 競争入札以外を選択することなく、**市場原理を確保した発注方式**となっている。
- ③ コスト低減については、すでに工事着手している東清水FCとの共同公募により選定されたメーカー間での競争環境を維持した発注方式を採用するなど、**現時点で考える採用可能な方策**が検討されている。

## 2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 過去実績と比較しても遜色なく、**今回の工事費はモデルと同等の金額**となっている。
- ② 土木工事の計画見直し等によりコスト増となったものの、メーカーとのコミュニケーション活動を通じた合理化の検討や、現場の状況や設備実態を考慮した仕様へ変更することにより、コスト低減の取り組みがなされており、**工事費全体として現時点では適正な検討が行われている**。
- ③ 実施案や過去の工事実績の概算工事に比べて増加する見通しはない。

## 3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画策定時点の工事完了時期に対して、土木工事の計画見直し等により工程見直しはあったものの、当初の予定工期内で可能となっており、**現時点では特に問題は無い**。
- ② 土木工事の計画見直し等に伴い、東清水FCの実系統試験とも整合した試験工程を精査の上短縮するなど、運開期確保に向けた検討が行われている。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しはない。

## 4. 今後に向けて

東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画のうち新佐久間FC工事の検証は完了となるが、

- ▶ 事業実施主体は、今回示したコスト低減への取り組みに加え、更なるコスト低減について検討を継続するとともに、その他の工事についてもコスト低減に向けた取組が行われていくことが望まれる。
- ▶ 発注手続きにあたって公平性・透明性を確保するとともに、コスト低減方策を採用した発注方式により、引き続きコスト低減に向けた取組が行われることが望まれる。